

新宮山彦ぐるーぷ第2234回

熊野修験春峰（玉置山↓前鬼）の事前荷揚げ協力

◇実施日 5月11日（木） 晴

◇参加者 沖崎吉信、濱野兼吉、大森洋、阪口雄二、松本吉殖、
畑林秀味・清子、大江徳子、湯川一郎、高橋桂太、梶野照雄
11名

熊野修験 角聖史、田代真平、杉山忠、坂本淳子、東敬子
5名



荷物満載で

分担して運ぶ

新しい発電機

熊野修験サポートの5名に沖崎が加わり、事前打ち合わせを行った。発電機が不調であること、法律運用の厳格化でプロパンガスの調達が困難になったこと、また昨年のサポート人員が少な

った為水の荷揚げに苦勞したことが話の焦点になった。

そのため、サポート人員15名程度は必要になる。直前に中前君から発電機の寄贈があり、ガスはカセットボンベで対応することになった。概略が決まった後に皆さんに呼びかけた結果、山彦11名と熊野修験5名、計16名の参加となった。

発電機の荷揚げは事前に「モッコ」と角材を用意し、リハーサルも行った。

当日午前9時半登山口に集合する。

荷揚げ品は

水（7.5リッターポリタンク10個、1.8リッターペットボトル20本）

発電機 一台（25kg）

ガソリン缶（5リッター）

トイレットペーパー、カセットボンベ、段ボール箱4箱

熊野修験差し入れの昼食弁当16食

他細々とした物で、モノレール横は荷物がいっぱいになる。

積みみ前に沖崎から本日のスケジュールや手順について説明を行う。荷物の重量が大きくなるので、2回に分けてモノレールで運ぶ。

沖崎が登山口で待機し、一回目の水を降ろして梶野君がモノレールを降ろしてきた。エンジンがオーバーヒート気味で水を少しかけて冷やしたようだ。2回目の荷物を積んで終点に着くと、残っている荷物は殆ど無く、一度の荷揚げで完了するようだ。発電機も見えなくなっている。熊野修験の田代君が背負子で背負って一人で登って行ったらしい。そのパワーと若さに感服だ。

午前11時過ぎ、全ての荷物が小屋に集められた。ご苦労様でした。早速荷物を整理し、所定の位置に納めたり在庫の確認をし、発電機2台の点検・起動、ソーラー発電の点検などに皆さん忙しい。それぞれほぼ終了し、落ち着いたところで昼食とした。

行動タイム

09:30 補給路登山口→11:05 行仙宿 13:45→14:20 補給路登山口



本日の参加者

下山

終点に。ペットボトル

5月13、14日は雨予報で、かなりの雨量になるようだ。小屋西側にブルーシートを張って雨除けを作ろうとしたが、強風のため断念した。

熊野修験サポートの方々には雨対策などを説明、午後2時前に予定した作業を終えた。

5月13、14日には生熊(敏)、畑林(秀)、松本、梶野の4名が出向き対応して頂ける。よろしくお願いします。

本日の荷物の量から、モノレール終点から小屋迄2往復の必要があるかと思っていたが、大勢の皆さんの参加で、一度で済んだ。ありがとうございました。

(記：沖崎)